Kamoto High School SSH Journal

p中本高校SSH通信 vol. 12





2年生 課題研究(山鹿サイエンスプログラムYSP)中間発表会



2年生は、6つの分野に分かれて課題研究を進めています。10月6日の中間発表会では、各分野の代表3名が発表し、各分野の専門家の先生方から発表に対しての助言を頂きました。

講師の先生方

1)科学

崇城大学生物生命学部教授 長濱一弘 様 東海大学文理融合学部教授 村上祐治 様

②人文科学

熊本大学文学部准教授 日髙利泰 様

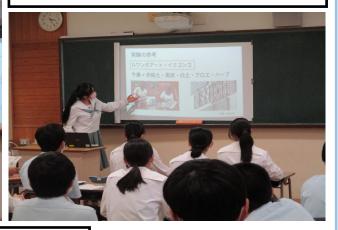
③教育·社会

熊本大学大学院教育学研究科教授 田口浩継 様 ④医療・看護・福祉

熊本保健科学大学看護学科助教 原口真由美 様 ⑤地域・防災

熊本県立大学総合管理学部教授 上拂耕生 様 ⑥スポーツ健康科学

熊本保健科学大学リハビリテーション学科講師 本田啓太 様



【発表テーマー覧】

「牛糞の臭いは消すことができるのか」池田さん 「温泉と風呂でのリラックス効果の違い」山口さん 「廃棄された半導体の有害物質をなくして安全に廃棄する方法」部良本さん

「日本に住んでいて英語の次に必要な言語は?」中山さん「テーマパークの音楽の秘密」池田さん 「国ごとに異なるwebデザイン」石坂さん

「放射能の処理について」井口さん

「人口流出を防ぐには」~人々の考え・心理から対策を立てる~」黒田さん「LGBTの理解を深めるためにできること」山下さん

「男性看護師を増やすことにより将来予想される看護師不足を解消する」中田さん 「赤ちゃんポストのこれからのあり方とは」古江さん 「放射線治療が普及するには」野見山さん

「行政アプリでもっと便利に~より地域に愛されるアプリにするために~」丸山さん 「お米プロジェクト~地元の食材を生かした商品開発を目指して~」志垣さん 「ハザードマップの周知方法」大嶋さん

「山鹿市の魅力ある訪問介護をつくる」小田さん 「ストレスとスポーツの関係性」社方さん

「バスケットボールにおける効果的なウォーミングアップの方法」塩田さん

発表会の後は、先生方のご専門の 研究分野や研究の手法などについ て、ご講義をしていただきました。



科学分野 長濱先生の講義

手のひらの菌を調べる方法を教えていただきました。

